土佐清水市姉妹都市友好協会

会報 ジョン万ニュース VOL. 18

「土佐清水市姉妹都市友好協会」会報第18号
平成２３年７月２２日
発行：「土佐清水市姉妹都市友好協会」
〒787-0392　高知県土佐清水市天神町11-2
TEL 0880-82-1113 FAX 0880-82-2882
e-mail：kikaku@city.tosashimizu.kochi.jp

第21回日米草の根交流サミット高知大会オープニング開催！

さる６月２９日、「第２１回日米草の根交流サミット高知大会」が開幕し、オープニングセレモニーと歓迎レセプションが本市で開催されました。万次郎とホイットフィールド船長の友情に基づくこの交流サミットは、東京にある国際草の根交流センターの主催で毎年日米相互で開催し、日米の市民が個人の立場で自由に意見交換し親交を深めることにより、相互理解の促進・友好関係の発展を目的としています。

市民文化会館で行われた開会式典には、米国からの約８０名、県外からの約５０名を含む約７００名の方が参加され、渭南病院チームによるあしずり踊りの披露や、足摺岬小学校による船唄・太鼓、中浜獅子舞保存会による獅子舞の伝統芸能が披露されました。

その他にも、ペリー提督のご子孫、ホイットフィールド船長のご子孫ロバート氏、また、万次郎５代目のご子孫の中浜京さんの講演も行われ、日米の友好の架け橋となった、それぞれのご子孫らが親交を深めました。

また、オープニング式典にあわせ、前々回の草の根サミット開催地であり、３月の東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県松島町から、松島観光協会の佐藤会長が来清し、被災地の現状を伝えてくださいました。姉妹都市フェアヘーブンからは、この度の大震災で被災されたみなさまへの支援として、フェアヘーブンのキルトグループが製作した７６点のキルト作品が、復興を祈る強い思いと共に佐藤会長の手に渡されました。

ジョン万次郎から６代目の子孫にあたる中村明日香さんは、「万次郎の故郷にみんなが集まることは運命的に思います。これからもずっと日米の友好を続けたい」と語られ、毎年交換を続けている友好の地球儀が中村明日香さんからロバートさんに手渡されました。

続いて午後７時から「足摺パシフィックホテル花椿」で行われた交流レセプションには、約200名の方が参加し和やかに交流を深めました。ジョン万次郎の縁による絆の深さと交流の輪がさらに広がっていることを確認することができました。

→←中浜獅子舞保存会　獅子舞

←足摺岬小学校　舟唄・太鼓

渭南病院あしずり踊り

翌日の30日から７月２日の３日間、地域プログラムとして本市を希望された１７名の方が市内の14家庭にホームステイし、ジョン万の生まれ故郷土佐清水市の自然・景観・文化にじかに触れ、またステイ先の家族と楽しく心温まる時間を過ごし親交を深めました。中でもコロラド州より参加した高校生５名は「生まれて初めて海で泳いだ!!一生の思い出になった。」と大喜びをしていました。

本市での取り組みの中心となって準備から運営まで、精力的に活動されましたウエルカムジョン万の会を中心とした日米草の根交流サミット高知大会土佐清水市実行委員会の皆様、どうもありがとうございました。

本市にホームスティされた皆さん

第13回米国ジョン万祭りツアーの参加者募集

米国ジョン万祭りは、１４才で漂流した万次郎がアメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助されたのち、ホィットフィールド船長の好意によりフェアヘーブンで勉学に励み、捕鯨船で乗組員として活躍するまでの青年期を過ごしたことを記念しフェアヘーブンの人々が日本の文化の紹介や日米の友好・交流を目的として、２年に１回開催しています。

土佐清水市姉妹都市友好協会では、この秋に米国姉妹都市マサチューセッツ州フェアーヘブンで開催される『第１３回ジョン万祭り』に参加し、姉妹都市のフェアヘーブン・ニューベッドフォードで万次郎の足跡をたどるツアーを実施します。

今回は「ホィットフィールド・万次郎友好記念館」の設立に尽力を頂いた聖路加国際病院の日野原重明先生の100歳の誕生会へも参加予定です。

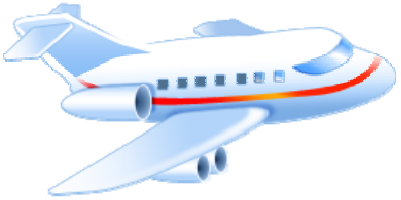
ジョン万次郎の縁で結ばれた米国姉妹都市との友好を深めるため姉妹都市を訪問しませんか。

■ツアー概要

【期　間】 平成23年9月29日(木)～10月５日(金)(7日間)

○米国での主な日程

・9/30　フェアヘーブン近郊のジョン万ゆかりの地訪問
　　日野原重明先生100歳を祝う会参加
・10/1　第13回米国ジョン万祭り参加
・10/2　ニューヨーク観光



【ツアー料金】 296，000円(宿泊ツイン・添乗員付き)

・ツアー参加人数、ほか諸条件により若干の変更あり
・含まれないもの･･･旅券取得費用等、ESTA代(アメリカ入国許可書)、旅行傷害保険料(任意分)、超過手荷物料金、シングル追加料(50,000円)、その他個人費用

【募集人員】 20名　(最少催行員15名)

【参加条件】 本友好協会会員であること(普通会員年会費1,000円・特別会員年会費10,000円)

【申込期限】 平成23年8月12日(金)

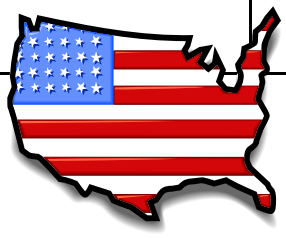
【そ　の　他】 参加者決定後、ツアー説明会を開催
　　羽田・成田発着、米国滞在延長など希望については対応可

【申込・問合せ】

・土佐清水市姉妹都市友好協会事務局(土佐清水市役所企画広報室内)
　電話:0880-82-1113 FAX:0880-82-2882 E-mail:kikaku@city.tosashimizu.kochi.jp
・近畿日本ツーリスト 高知営業所　担当:北村直子
　電話:088-824-4891 FAX:088-824-2861 E-mail: kitamura090307@mb.knt.co.jp

■ツアー日程表

日	月日曜	発着地／滞在地名	現地　時間	交通機関	摘　　要	食事
	平成23年	土佐清水発	5:30	専用車	(市役所手配)	
	9月29日	高知龍馬空港着	9:00			
	(木)	発	9:45	JL-1484	空路、羽田空港へ	
		羽田空港着	11:00			
		発	11:30	専用バス	羽田到着後、専用バスにて成田空港へ	×
①		成田空港着	12:40			
		発	15:05	DL-276	日 付 変 更 線	機
		デトロイト空港着	13:35			機
		発	16:29	DL-4206	入国手続き後、乗り換え	
		プロビデンス着	18:22	専用バス	到着後、専用バスにてホテルへ	
				(フェアヘーブン手配)	(泊)フェアヘーブン	×
	9月30日				ホテルにて朝食	朝
	(金)	フェアヘーブン滞在	終日	専用バス	「万次郎トレール」に沿ってゆかりの地を訪問	
②				(フェアヘーブン手配)	ホイットフィールド・万次郎友好記念館、旧ユニオン教会、ミリセント図書館、小学校、船長のお墓など	×
					夕刻「日野原先生お誕生日を祝う会」	×
					(泊)フェアヘーブン	
	10月1日				ホテルにて朝食	朝
③	(土)	フェアヘーブン滞在	終日		***≪第13回ジョン万祭≫***	×
					(泊)フェアヘーブン	×
	10月2日				ホテルにて朝食	朝
	(日)	フェアヘーブン発	7:30	専用バス	専用車にてニューヨークに移動	
④		ニューヨーク着	12:30		中華料理の昼食後、ニューヨーク観光	昼
					自由の女神、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｾﾞﾛ、国連本部、ﾄｯﾌﾟ・ｵﾌﾞ・ｻﾞ・ﾛｯｸ	
					夕食はホテル内レストラン　(泊)ニューヨーク	夕
	10月3日				ホテルにて朝食	朝
	(月)	ホテル発	10:30	専用バス	専用バスにJFケネディ空港へ	
⑤		JFケネディ空港着	11:30			×
		発	13:20	DL-173	出国手続き後、帰国の途へ	機
					(泊)機　内	
	10月4日	成田空港着	16:50		入国手続き後、専用バスにて羽田空港へ移動	機
⑥	(火)	発	17:40	専用バス	夕食はホテル内レストランにて自由食	×
					(泊)羽田空港	
	10月5日				連絡バスにて羽田空港へ	×
	(水)	羽田空港発	7:25	JL-1483	空路、高知空港へ	
⑦		高知龍馬空港着	8:55		到着後、専用車にて土佐清水へ	×
		発	9:15	専用車	(市役所手配)	
		土佐清水着	13:30		お疲れ様でした。	



【利用予定航空会社】JL(日本航空)、DL(デルタ航空)

【利用予定　ホテル】フェアヘブン3泊:SEAPORT INN & MARINA

ニューヨーク1泊:WELLINGTON HOTEL

羽田空港　　1泊:ホテルJALシティ羽田東京

ジョン万の第2の故郷より東日本大震災へ友好の贈り物

本市と友好姉妹都市の盟約を交わしている米国マサチューセッツ州フェアヘーブンのホイットフィールド・万次郎友好協会（ジェラルド・ルーニー会長）より東日本大震災の義援金11,000ドル(約90万円)が本市姉妹都市友好協会に4月28日に届けられました。

フェアヘーブン・ニューベットフォードの両都市とは、万次郎が米国で生活を送った縁で昭和62年12月に友好姉妹都市の盟約を結び、以降２１年間交流を続けています。

米国側の交流の拠点となっている米国友好協会が中心となり、震災発生後すぐに募金活動が始まり、「万次郎を通じて育んで来た友情を示したい」と近隣の住民に呼びかけたところ、学校などの団体や個人から目標額の10,000ドルを上回る11,000ドルの義援金が集まりました。7歳の少女は近所の金物屋に募金箱を置かせてもらい103ドルの募金を集めてくれました。また複数の学校では生徒が中心となり温かい募金を集めていただきました。

おりしも米国友好協会長の妻の文子・ルーニーさんは他のメンバー2人とこの時期に来日中で、東日本大震災発生の11分後に成田空港に到着し、成田空港で一夜を過ごしたり翌日の公共交通機関の混乱等を体験しており、その体験談を募金活動で話し協力を呼びかけました。

本市姉妹都市友好協会ではこの義援金を5月2日に高知新聞社会福祉事業団に寄託いたしました。

7歳のニカちゃんより募金箱を受取るアヤコさん

また、米国のキルトグループ「ザ・シャイニングタイドキルト会」のみなさんより、東日本大震災で被災された方々にと約７０点にものぼる素敵なキルト作品を贈っていただきました。

同キルト会は、昨年10月に本市で開催された第３回土佐清水ジョン万祭りにも３名の会員の方が参加されるなど、フェアヘーブン近郊の約１００名の皆さんで活動されており、今回贈っていただいたすべての作品は、東日本大震災後に製作されたものです。

「現在大変な思いをされている被災者の方々、特に子ども達の心が温かくなる手作りのものを贈りたい」との温かい言葉も添えられています。

この贈り物は６月２９日の草の根交流サミットのオープニングに宮城県より参加された被災者代表に手渡され、被災された皆様に渡していただきました。

米国の友人の皆様、友好をつなげる温かい贈り物をありがとうございました。

文化会館で市民にお披露目

昨年10月のジョン万祭りの一こま

友好協会会員拡大にご協力をお願いします！

会員の皆様のご協力により、当協会の運営を行っています。ぜひお知り合いの方にも声かけをいただいて、会員の拡大にご協力をお願いいたします。

年会費：普通会員1,000円、特別会員10,000円

申込み：姉妹都市友好協会事務局 0880-82-1113(企画広報室内)

平成22年度会員数(H23.3月末現在)

市内	368	特別	19
		一般	349
市外	29	特別	5
		一般	24
計	397	特別	24
		一般	373